

- 下越病院の理念**
わたしたちは地域のみなさんとともにゆきとどいた医療・福祉の実現を目指します
- 下越病院の基本方針**
- 地域から信頼され、地域社会のニーズに応える病院になります
 - チーム医療による質の向上を目指し、安心安全の医療を提供します
 - 地域のみなさんとともに、健康づくり・まちづくりをすすめます
 - 働きがいがあり、人間性豊かな医療人を育成します
 - 持続可能で透明性のある病院経営を行います

えがお 下越

下越病院
広報誌

Vol.73

2026年
夏号

JCEP
Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training



【災害拠点病院】【救急告示病院】【基幹型臨床研修指定病院】

 社会医療法人 新潟勤労者医療協会

<http://niigata-min.or.jp/kaetsu/>

下越病院

かえつびょういん

検索

今年度新入職員です。
よろしくお願ひします！



新入医師ご挨拶

よろしくお願ひします



1年目
臨床
研修医

劉 凌 医師

4月より下越病院で初期研修医として勤務しております、劉凌です。見学で下越病院を訪れた際、医療は病気だけでなく、患者さまの生活背景や地域とのつながりも大切にしていると感じ、大変魅力を感じました。現在は日々多くのことを学びながら、患者さま一人ひとりに丁寧に向き合える医師を目指しております。まだ未熟ではありますが、少しでも皆さまのお力になれるよう精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



1年目
臨床
研修医

佐藤 優夏 医師

初期研修医1年目の佐藤優夏と申します。新潟大学出身で、学生時代にも実習で下越病院にお世話になりました。

私は地域医療に興味があり、下越病院では地域の方と関わる機会が多く、地域の生活に目を向けることができる点が魅力だと感じて研修先へ選ばせていただきました。

患者さんの生活にも目を向けながら、患者さんの望む生き方を尊重できる医師になりたいと考えております。よろしくお願ひいたします。



1年目
臨床
研修医

村山 俊 医師

初期研修医1年目の村山俊と申します。新潟市中央区出身で現在小学1年生の娘がおります。温かいスタッフの方々や患者さん、ご家族、地域の皆様は様々なことを教えていただきながら、下越病院の一員として地域医療に貢献できればと思ひます。郷土史に興味があるため、新津・五泉・阿賀地域の地域性や歴史・文化を学びつつ、皆様と関わっていければと思ひます。よろしくお願ひ致します。



1年目
臨床
研修医

張替 夏歩 医師

研修医1年目の張替夏歩と申します。新潟生まれ、新潟育ちで下越病院には高校生の医師体験の頃からお世話になっています。趣味は美味しいものを食べる、温泉に入ることです。

病院内の雰囲気、職種間の垣根の低さに惹かれ、ここで研修したいと思うようになりました。皆様のお役に立てるように頑張りますので、よろしくお願ひいたします。



1年目
臨床
研修医

小林 哲也 医師

4月から下越病院で研修医として勤務することとなりました、上越市出身の小林哲也と申します。

下越病院の魅力は、地域に寄り添い、この街に住む方々と関わる機会が多いところだと感じております。まだまだ未熟ではございますが、地域の皆様とともに歩み、信頼される医師となれるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



2年目
臨床
研修医

朱 純琪 医師

名古屋徳洲会とのたすぎがけプログラムとして、下越病院で2年目の臨床研修を行うことになりました、朱純琪と申します。出身は中国で、2年前に日本に参りました。下越病院の自由な研修体制を活かし、志望科の消化器内科の内視鏡経験を積みながら、地域の皆様に信頼される医師を目指して頑張ります。よろしくお願ひいたします。



2年目
臨床
研修医

北山 絢梨 医師

春から下越病院で研修することになりました、研修医2年目の北山絢梨と申します。昨年は神奈川県湘南鎌倉総合病院で研修を行い、救急を中心とした急性期医療に携わってまいりました。地元は胎内市で、このたび新潟に戻り、新潟の医療に携わることができることを大変嬉しく思っております。皆さまとの関わりを大切にしながら、日々成長できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



TY※
研修医

※ Transitional Year 研修

今井 諭 医師

はじめまして。長岡市出身の今井諭と申します。新潟大学を卒業後、昨年度まで産婦人科専門医として働いていました。内科診療を志すようになり、今年の4月から下越病院のTY研修の医師として勤務しております。

内科医としては1年目でまだまだ勉強中の身ではありますが、患者さんの気持ちに寄り添った丁寧な診療を心がけてまいります。よろしくお願ひいたします！



呼吸器
内科

尾方 英至 医師

このたびご縁を賜り、下越病院呼吸器内科の常勤医として着任いたしました尾方英至（おがたひでゆき）と申します。2016年4月より新潟大学呼吸器・感染症内科に所属し、肺がん、間質性肺疾患などのびまん性肺疾患、ならびに新型コロナウイルス感染症、敗血症、医療関連感染などの感染症の診療に従事してまいりました。今後は地域医療の発展に貢献できるよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

「入院のご報告」送付の取り組み

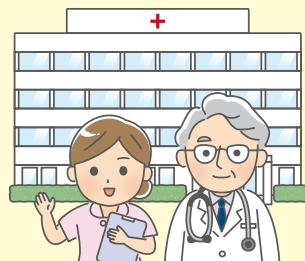
医療福祉連携センター 小日山 敬介

2025年12月より、内科系かかりつけ医をお持ちの患者さんが当院に入院された際に、「入院のご報告」を一律で送付する取り組みを開始しております。

この取り組みの大きな目的は、地域における「病診連携」のさらなる推進です。従来以上に病院とかかりつけ医の先生との間で診療内容を共有することで、入院前から退院後まで、一貫性のある円滑で質の高い医療サービスの提供を目指しています。

かかりつけ医の先生方と入院主治医との間で診療情報が共有されていることは、患者さんやご家族にとっても何よりの安心感につながるのではないかと考えます。

今後とも、地域医療連携のさらなる発展に向け、邁進してまいります。



患者さんの入院報告を
かかりつけ医へ



病院機能評価を受審

3月17日(火)・18日(水)に更新調査を受けました。1年ほど前から院内でのキックオフ集会、模擬サーベイなどを通して書類や規程の整備、当日のラウンド対応などを準備してきました。

2日間にわたる調査の中で、準備対応の成果が出た部分もありますが、指摘があった部分も少なくありません。結果を受け止め、改善を通じて利用者や地域に貢献していくことが今後の目標です。



面接調査の様子



病棟ラウンドの様子

認定看護師のご紹介 Vol.1

慢性呼吸器疾患看護認定看護師/慢性疾患看護専門看護師 小林 千穂

下越病院では認定看護師の育成に力を入れており、現在は4分野（慢性心不全看護、感染管理、皮膚・排泄ケア、慢性呼吸器疾患看護）の認定看護師がそれぞれの専門性を活かし活動しています。認定看護師は、特定の看護分野において専門的な知識と技術を持ち、質の高い看護を実践する看護師です。

今回は私の専門分野である慢性呼吸器疾患看護認定看護師の活動の一つである、「看護外来」についてご紹介いたします。

呼吸の病気を専門に支える看護外来は、まだ多くはありません。看護外来は、患者さんやご家族が気軽に立ち寄り、日々の困りごとや不安についてゆっくりお話しいただける場です。看護外来では、「息切れがつかなく外出が不安」「これまで通りの生活ができるだろうか」といった思いに耳を傾け、体調の変化を一緒に振り返りながら、吸入療法や在宅酸素療法の使い方を確認したり、日常生活の工夫を一緒に考えたりしています。看護外来は患者さんやご家族が「ちょっと聞いてみよう」と思ったときに、気軽に相談できる場でありたいと考えています。療養支援において大切にしていることは、患者さん一人ひとりの思いや価値観に目を向け、その人が持っている力を信じながら支えていくことです。そして、患者さんに寄り添う姿勢を大切にしながら、今後も取り組んでいきたいと思っております。

今後は、当院で活躍するさまざまな分野の認定看護師も順次ご紹介していく予定です。それぞれの専門性を活かした看護の実践を、ぜひ身近に感じていただければと思います。

下越病院の新しいロゴが完成しました！



この度、下越病院の新しいロゴマークが誕生しました！当院の理念である「地域のみなさんとともに」から着想を得て、「下越病院」と「健康友の会」の頭文字である「K」をデザインしています。ロゴを彩る4つの色は、健康友の会の支部がある各区のイメージカラーを採用しました。新津総支部(秋葉区)のフローラルグリーン、白山船江沼垂総支部(中央区)のウォーターフロントブルー、ときわ総支部(東区)のアクアブルー、そして坂井輪総支部(西区)のサンセットオレンジです。このロゴは、皆さまと一緒にゆきとどいた医療と福祉を実現していくという私たちの誓いです。これからも、皆さまと共に歩んでまいります。



下越病院
〒956-0814 新潟市秋葉区東金沢 1459 番地 1
TEL 0250-22-4711 FAX 0250-24-4740



広報誌へのご意見・ご感想はこちらまで
kaetsu_soumu@niigata-min.or.jp
※頂いたご意見は「えがお下越」に掲載させていただく場合がございます